



聖稜だより

令和6年7月30日発行

病院機能評価【認定】

2024年2月15日と16日の2日間にわたり、病院機能評価を受審し、「認定」を受けました。



「病院機能評価」とは、外部の評価機関である公益財団法人 日本医療機能評価機構の中立的・科学的・専門的な見地から、病院の組織運営や管理、病院が提供する医療について評価を受けるものです。

当院は今回初めての受審のため、1年半以上かけて改善活動に取り組みました。その甲斐あって、無事「認定証」をいただき、職員一同安堵しております。

今回の受審で「認定」をいただきましたが、審査結果による指摘事項やサーベヤーからのアドバイスを真摯に受け止め、更なる医療の質の向上に取り組み、継続的に良質な医療を提供できるように努めてまいります。

今年度の目標管理発表会を開催

多職種合同の目標管理を始めて3年目を迎えました。参加する職種や人数も増え、入院患者の皆さんによりよい医療とケアを提供しようという意識が年々高まっている実感があります。

リハビリテーションを進めていくには様々な職種が持つ情報を共有するコミュニケーションと、入院患者さんが安心してリハビリテーションに専念できる環境作りが不可欠です。

前年度の振り返りを通して、今年度の新たな目標を掲げました。それぞれの職種の特性を活かしながら、患者さんが安心・安全に入院生活をおくれるよう努めて参ります。



季節を楽しむ

日本には四季があり、春はさくら、梅雨にはあじさいと季節を感じる事ができるものがあります。

6月には聖稜会の敷地内でもいくつかの種類「あじさい」を楽しむことができました。

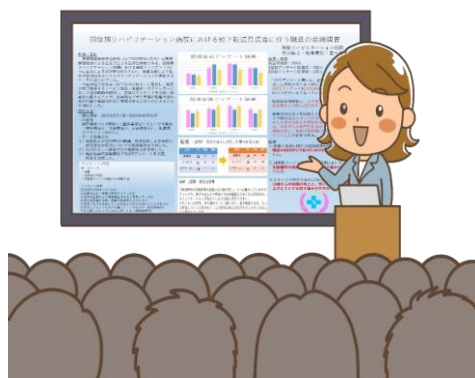


日本リハビリテーション医学会学術集会でのパネル発表

6月13日～16日、東京にて開催された第61回日本リハビリテーション医学会学術集会が開催され、当院より看護師2名が看護研究についてパネル発表を行いました。

発表テーマは「回復期リハビリテーション病院における短下肢装具装着に伴う職員の意識調査」です。

医師や療法士、看護師など多職種の方々や企業関係者も多く集まる学術集会に参加したことで、新たな視点や考え方を多く学ぶことが出来ました。今後はその学びを活かして、看護業務に従事してまいりたいと思います。



静岡県理学療法学術大会にて当院職員2名が症例発表

第27回静岡県理学療法学術大会が6月22日、23日にグランシップで開催されました。当院から理学療法士の曾根木乃美が「多職種間でのアプローチと目標設定を明確に行うことで能力改善に至り、歩行自立の目標を達成した症例」、理学療法士の武田慎一郎が「発達性協調運動障害児に対してVRを用いた介入の一例」の発表を行いました。

日頃の業務の取り組みを発表して、患者さんとのリハビリテーションを振り返る良い経験となり、活発な質疑応答もあり学びの深い2日間となりました。

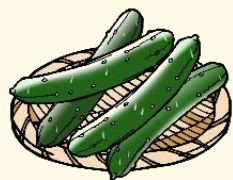


聖稜会菜園の紹介

当院では訓練の一環として、入院患者さんと一緒に野菜を育てています。猫の額ほどの畑にミニトマトとおくらが実りました。たくさんの陽を浴び、数日後には真っ赤なトマトに変身。収穫が楽しみです。調理訓練では実った野菜を主役にしたおいしい料理ができそうです。



暑い夏、冷やしたきゅうりを食べて乗り切ろう!!



きゅうり全体の95.4%は水分で、1本(100g)当りは13Kcalと低カロリー。高血圧やむくみ予防に効果的なカリウムだけでなく、ビタミンや食物繊維も多く含まれています。熱中症予防に最適だそうですよ。冷蔵庫で冷やして、そのまま食べてみてはいかがでしょうか。



看護師・介護士・介護補助 募集中!

多職種協働を実践しています! お気軽にお問い合わせください!
総務部 054-639-0198

